

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

2D Balanced SSFP を使用した後区域胆管枝描出の検討

### 2. 研究責任者(当院)

所属：聖隷佐倉市民病院 放射線科

氏名：片岡 義貴

### 3. 分担研究者

所属：聖隷佐倉市民病院 放射線科

氏名：園田 優

### 4. 研究対象者

2022 年 8 月 1 日～2022 年 9 月 1 日の間に、聖隷佐倉市民病院において〔放射線科 10 名で、本実験の内容を説明し同意〕を受けた方、又は受ける方。

### 5. 研究の必要性

胆嚢摘出術は、胆管や門脈、肝動脈の分岐及び走行を把握し後区域胆管枝を同定することが重要である。MRI 検査は、非侵襲的に胆管や胆嚢を描出する検査である。balanced ssfp 法は短時間で高い SNR を得られるが、静磁場が不均一な場所においてはバンディングアーチファクトが出現しやすい問題がある。

今回、2D balanced ssfp 法による横断面撮像での後区域胆管枝描出の検討を行った。検討を行うことで最小限の検査時間で明瞭な画像を提供することが可能となる。したがって、本研究を行うことが必要である。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究に造影剤を使用することはない。また、本研究に必要な MRI 検査は、非侵襲的検査であり、日常臨床における安全性は確保されている。

調査対象の方にリスク・不利益、経済的負担が発生することはない。

後区域胆管枝をを描出することで、胆嚢摘出術のオペ方式を決定できる良好な画像を得ることが可能となる。また、検査時間も短くなるため、患者の負担軽減にもつながると考える。

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1155

担当者氏名：放射線科 片岡義貴

対応時間：平日 08:30～17:00

#### ※ご注意

対象者とは、個別に同意された方です。  
・お問合せは、同意された方と関係者  
・のみで、その他の方へのご対応はでき  
・ませんので、予めご了承ください。